

■倫理問題検討委員会

1. 目的

倫理問題検討委員会は、亀田メディカルセンターでの臨床において生じるさまざまな倫理的問題について審議し、医療者・患者・家族に倫理的な指針を提示・助言し、そのことを通して倫理的に配慮された医療がなされることを目的とする。

倫理問題検討委員会の審議対象は臨床現場における様々な倫理的問題であり、種類は選ばないが、審議対象の適応例には以下のようなものが考えられる。

- 1) 輸血に関すること
- 2) 臓器移植に関すること
- 3) 生殖医療に関すること
- 4) 末期医療に関すること
- 5) 告知に関すること
- 6) 治療の選択や差し控え、中止
- 7) 前例のない治療の施行
- 8) その他患者さまの基本的権利の擁護に関すること
- 9) 疑義がもたれる診療録の開示
- 10) 機微な個人情報の収集・利用
- 11) 委員長が至当と考えられる事項

※臨床試験・臨床研究についての倫理的観点からの審議は、「臨床研究審査委員会」にて行われる。

2. 開催計画

〈定期開催〉

偶数月の第一水曜日に開催。事前に申請者より提出された議題について審議。審議終了後、「審議結果報告書」もしくは「臨床倫理助言書」をもって申請者に通知する。申請者は、委員会の審議結果に異議がある場合は、委員会に対し再審議の申し立てをすることができる。

〈臨時開催〉

臨床上で定期開催では間に合わないような倫理的問題が生じた場合、委員長の判断により、臨時に委員会を開催することができる。委員3名（医師1名を含む）以上の出席で開催可能。委員が召集できない場合は、速やかに院長の指示を仰ぐ。

3. 委員（順不同 敬称略）

田中美千裕（委員長） 関根龍一（副委員長） 池谷恭子 大川薫

伊東宏明（～2021年2月28日） 湯浅 正太（2021年3月1日～）

丸山祝子 佐々木真弓 西川和年 奈良和子 中後淳 瀬良信勝 山田みどり 児玉照光

山下洋一郎（外部委員） 足立智孝（外部委員） 星野資子（外部委員）

4. 議事内容

今年度は定期・臨時を合わせて計4回開催した。新規申請は5件で、COVID-19の感染爆発時におかえる人

工呼吸器の配分を判断するプロセスについての提言について、適応外の内視鏡処置に関する審議のお願い(超音波内視鏡下膵管ドレナージ術について、経皮内視鏡的ネクロゼクトミーについて)、CT撮影時のICD・CRTDの点検・設定変更免除について、MRI対応型心臓植え込みデバイスの規定外撮影の実施について、KFCTでの患者対応に関するルール作りについて、以上の議題について検討を行った。

5. まとめ

上記審議に加え、亀田医療大学 足立 智孝先生を講師に迎え、「コロナ禍における医療現場の生命倫理的課題」をテーマに、院内医療倫理講演会を開催し、32名の方が参加した。参加者からは、非常にわかりやすかった、との意見を多く頂き、大変好評であった。次年度以降も継続して開催する予定である。

委員長 田中美千裕